

# 明治学院同窓会川越支部 概要について

2代支部長 伊藤 幾造



長嶋前支部長 伊藤支部長 芝間埼玉ブロック長

初代長嶋支部長のもと発起人数名で発足した埼玉川越支部は、第1回支部総会を、川越平安閣にて、平成5年6月12日に行い、その後、毎年会員の方々に情報交換と懇親の場を提供して会を運営してきました。

時の経つのは早いもので、今年で支部創立21年目を迎えることが出来ました。皆様のご協力、本当にありがとうございました。お礼申し上げます。

さて、この支部は、6市2町（川越・ふじみ野・富士見・鶴ヶ島・坂戸・狭山・川島・毛呂山）の広範囲に在住する同窓会員1,300名にならんとする会員で組織されており、その中心となる川越は、江戸文化の影響を受け「小江戸」と呼ばれ、歴史・文化の町として知られております。現在、川越には、年間620万人の観光客が訪れており、特に土曜、日曜には、多くの人でにぎわっております。又、川越は、島崎藤村ゆかりの地としても知られています。

これらのことを踏まえ、これまでの総会では、地元文化や産業を中心とした講演会（「藤村と川越」「川越のいも」）を催したり、会員の中で得意分野での講演をしていただいたり、見学を兼ねた日帰り旅行等実施してきました。

今後も6市2町の特徴を活かした事業を展開して行きたいと思っております。



時の鐘



菓子屋横丁

(公社)小江戸川越観光協会 web サイトより